

●公益法人Ⅲα Version 6.602、公益法人α Version 7.602

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

※上手くんαクラウドはWindows Vistaでは使用できません。

◆ リリースに伴う対応を行いました。

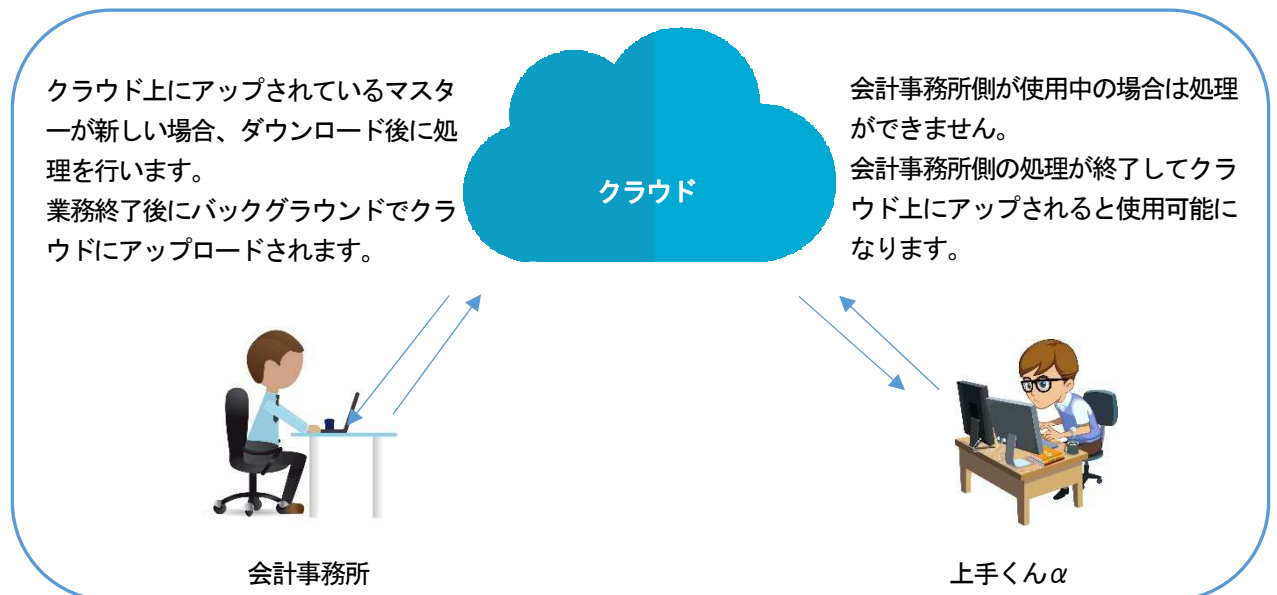
- 会計事務所と顧問先上手くんαシリーズ(スキャナ上手くんαを除く)間でのデータ交換をクラウド経由で行うシステムです。

常にクラウド上のバックアップデータと同期して処理を行うため、会計事務所と顧問先上手くんαで最新の状態で処理を行うことができます。

上手くんα 1ライセンスにつき、同時に複数マスターを共有対象にできます。

各上手くんαシリーズの登録可能マスター数まで。最大3社の場合(例:法人2社、個人1社)

また1マスターにつき、最大10期マスターを共有対象とします。(共有マスターは10期保存固定)



(ロックされるのは、同一年度マスターです。例えば片側で過年度を起動中の場合には、もう片側では当年度は起動可能となります。)

※上手くんαクラウドを使用するにはインターネット環境が必要です。

※上手くんαクラウドはSQL Server 2005環境では使用できません。

※経理上手くんαクラウドは新規開発プログラムになります。ライセンス契約が(有償)別途必要になります。

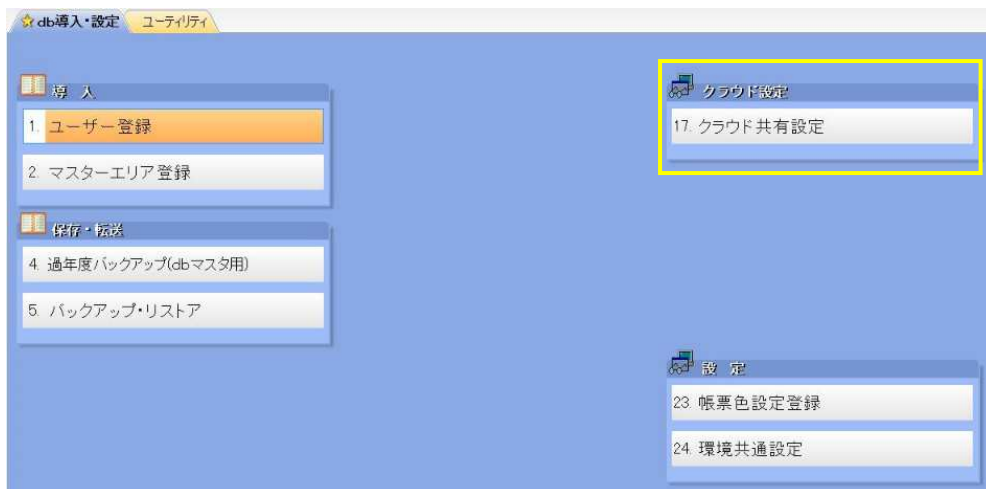
◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、3ページからの“公益法人Ⅲα (VERSION:6.602)、公益法人α (VERSION:7.602) の変更点”を参照してください。

●共通処理／d b 導入 VERSION:2.019

◆ d b 導入・設定・印刷

➢ クラウド設定／クラウド共有設定（新規追加業務）

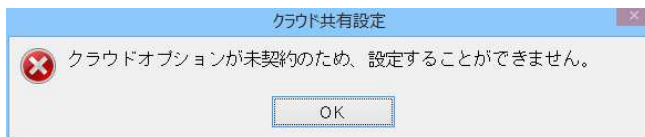


・上手くんαクラウドと共有する財務マスターの登録・取得を行う業務です。

※システム管理者のみ起動可能です。

※経理上手くんαクラウドは新規開発プログラムになります。ライセンス契約が（有償）別途必要になります。

ライセンス未登録の場合、当業務は下記メッセージで実行できません。



◆ バックアップ・リストア

➢ クラウド共有マスターを復元する場合、クラウド共有が解除されます。

《クラウド共有設定』の操作説明書について》

共通処理／d b 導入・設定選択画面左下の“マニュアル [F1]” ボタンより、PDFマニュアルを参照してください。

上手くんaクラウド対応

I. 導入・更新

1) 翌期更新

・上手くんaクラウド対応に伴い、ファイルを更新しました。

2) データ抽出

・上手くんaクラウド対応に伴い、ファイルを更新しました。

3) 財務マスターコンバージョンd b (公益法人Ⅲ)

・共有マスターのコンバージョンを不可としています。

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

・相手先で過年度マスターを使用中の場合、事務所側で当年マスターを選択した時は、比較関係のタブを非表示にするようにしています。

2) 科目設定・残高登録

・共有先で過年度マスターを使用中の場合、事務所側で当年マスターを選択し、枝番残高登録で予算登録を開こうとした場合に「共有先で使用済」のメッセージを表示し、処理できないようにしました。

3) 新規会社登録・修正・削除

・共有マスターで会社削除を行うと、共有設定を解除します。
・共有マスターは過年度のみを削除できないようにしています。

III. 出力

1) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

・消費税額試算表で相手先で過年度マスターを使用中の場合、事務所側で当年マスターを選択した時は、「共有先が過年度マスターを操作中の為、前年対比はできません。」のメッセージを表示します。

IV. 決算

1) 内訳表

・クラウド対応に伴い、ファイルを更新しました。

V. 通信・移動

・上手くんaクラウド対応を行いました。
クラウド共有マスターでの処理を制限しています。

その他改良・修正

I. 全般

1) 会社選択

- ・過年度マスターを選択した場合、フォーカスを前期マスターに移動するようにしました。

27年08月	○	○	▼
28年08月	○	○	
27年08月	○	○	
26年08月	○	○	

II. 導入・更新

1) 財務マスターコンバージョンdb（公益法人Ⅲ）

- ・コンバージョンすると【テーブル変換処理中のエラーオブジェクト "dbo.MT_institution" が存在しないか権限がないので、このオブジェクトを見つけることができません。】とエラーになる場合があったのを修正しました。

III. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

- ・合計色の行を薄い黄色から少し濃い色に変更しました。

[変更前]

残高	貸借損益	比較残高	比較貸借	比較損益	推移貸借	推移損益
勘定科目		前月残高			借方発生	
現金		0			10,000,000	
現金・預金		0			10,000,000	
流動資産		0			10,000,000	
資産合計		0			10,000,000	

[変更後]

残高	貸借損益	比較残高	比較貸借	比較損益	推移貸借	推移損益
勘定科目		前月残高			借方発生	
現金		0			10,000,000	
現金・預金		0			10,000,000	
流動資産		0			10,000,000	
資産合計		0			10,000,000	

- ・F11 発生残高で、前期決修月に残高発生があり、且つ、当期に使用していない科目が金額すべて0になった状態であったのを修正しました。

* F11 発生残高の科目選択コンボボックスの表示について

部門ボタン、枝番ボタンとも OFF のときは、当期に残高又は発生がある科目のみ表示します。

部門ボタン又は枝番ボタンが ON のときは、F6 条件設定の"残高・発生の無い部門(枝番)を出力する"の選択により変わります。

- ・枝番で印刷する時、条件設定で「残高一覧で科目の指定が無い時に合計科目を出力する」のチェックを入れて、科目指定すると合計科目が出力されなかったのを修正しました。

上記に伴い、科目指定の有無に関わらず、チェックがあると合計科目を出力します。

なお科目指定した場合、指定した科目に応じて合計科目を出力します。単一科目指定している場合や科目範囲によっては合計科目を出力しない場合があります。

例) 流動資産で売掛金・立替金・未収入金・前払費用に枝番があり、科目指定で売掛金~未収入金とした場合は合計科目「流動資産」は出力しません。

売掛金~前払費用とした場合は合計科目「流動資産」を出力します。

上記に伴い、F6 条件設定の文言を変更しました。

変更前：「残高一覧で科目の指定が無い時に合計科目を出力する」

変更後：「残高一覧で合計科目を出力する」

また下記の文言も変更しています。

変更前：コード付加「しない/科目コード」

変更後：科目コード表示「しない/する」

[変更前]

共通

残高一覧で科目の指定が無い時に合計科目を出力する
 当期純利益を出力する

対比率がマイナスの時に出力する

残高・発生の無い枝番を出力する

小計を出力する

枝番未入力残高を出力する

枝番出力時に科目基準で出力する

諸口を出力する

初期カーソル： 科目リスト

コード付加： しない

前期比較方法： 累計比較

[変更後]

共通

残高一覧で合計科目を出力する
 当期純利益を出力する

対比率がマイナスの時に出力する

残高・発生の無い枝番を出力する

小計を出力する

枝番未入力残高を出力する

枝番出力時に科目基準で出力する

諸口を出力する

初期カーソル： 科目リスト

科目コード表示： しない

前期比較方法： 累計比較

・ [公益法人 db][公益法人Ⅲdb]

合計科目「税引前当期一般正味増減額」、「当期一般正味財産増減額」、「当期指定正味財産増減額」を表示するように改良しました。

事業費	
経常費用	
税引前当期一般正味財増減	
当期一般正味財産増減額	
一般正味財産期末残高	
指) 他受託収益	
指定正味財産増加	
当期指定正味財産増減額	
指定正味財産期末残高	
正味財産期末残高	

- ・ 部門指定で、F6 条件設定の部門表示方法を「科目」にしている状態の残高一覧表を Excel 出力すると、部門名称が 8 文字以上ある場合、前月残高が枝番名称と同じセルに入り、以後 1 列ずつ左にずれて出力されていたのを修正しました。
- ・ 不使用科目が、部門指定の残高問い合わせに表示される場合があったのを修正しました。
- ・ 当期枝番残高が無く前期枝番残高がある場合、条件設定で「残高発生の無い枝番を出力する」のチェックを外すと、前期枝番残高の名称が表示されていたのを、当期の枝番残高名称を表示するように修正しました。

IV. 出力

1) 総勘定元帳

・ F7 出力書式 [書式 1] に「前/翌月繰越行の日付出力」の選択を設けました。

※予算元帳は対応していません。(初期選択「なし」)

元帳書式の変更

書式 1 書式 2 書式 3 情報

月計出力後の行あけ
 月替り時の累計出力
 科目コードにチェックディジットを付加する

基本科目名称の出力： 通常

月計時の日付出力： なし

翌期繰越行の日付出力： なし

前/翌月繰越行の日付出力： あり

補助元帳での出力順： 科目-枝番

補助元帳での枝番： 枝番コード+枝番名称

「前/翌月繰越行の日付出力：あり」にした場合、前月より繰越、翌月への繰越に日付を出力します。

[前/翌月繰越行の日付出力：あり]

28年 月 日	番号 (相手科目名)	摘 要
3. 1		前月より繰越
3. 2	2 売上 高 1	
3. 3	3 仕入 高 1	
3. 31		翌月への繰越

[前/翌月繰越行の日付出力：なし]

28年 月 日	番号 (相手科目名)	摘 要
		前月より繰越
3. 2	2 売上 高 1	
3. 3	3 仕入 高 1	
		翌月への繰越

※参考

「月替わりによる改頁を行う」は印刷のみ影響します。画面表示には影響しない為、印刷と画面表示で年月日の表示が異なるケースがあります。

(例) 決算期間 平成 27 年 10 月 1 日～28 年 9 月 30 日 期間は 11 月～3 月を選択している場合。

印刷では次のように表示します。 28 年 3. 1 前月より繰越

画面表示では次のように表示します。 27 年 11. 1 前月より繰越

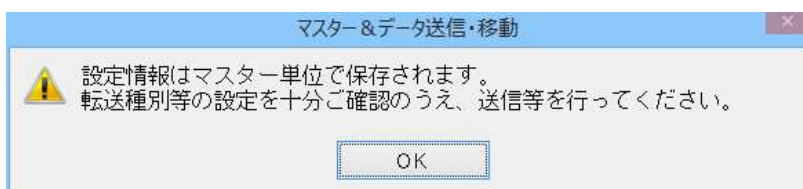
- ・補助元帳で、除外指定に枝番 0000 が反映していなかったのを修正しました。
- ・ワイド画面で、表示画面で最小化にして、元のサイズに戻すと、上の〇年、科目コード欄、摘要欄が正しく表示されていなかったのを修正しました。

V. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ・前回の改良で、各設定をマスター毎に保存するようになりましたが、設定が初期値に戻るため、プログラム入替後、各マスターで初回起動時に設定確認のメッセージを表示するようにしました。

※すでに前回分で送信処理を行ったマスターは表示しません。



以上